

大学発新産業創出プログラム 社会還元加速プログラム(SCORE) チーム推進型
事後評価結果

研究開発課題名:	次世代型超音波生体モニタリング技術の事業化
研究担当者(所属・役職・氏名)	電気通信大学 大学院情報理工学研究科 准教授 小泉 憲裕

1. SCORE での活動目的

超音波診断装置は検者が観察したい方向から患部を確認できるが、一方でその自由度の高さゆえに検者間での習熟度や超音波プローブの操作方法により取得できる画像にバラつきが生じやすいという課題がある。それを解決するために、臓器内の患部の自動抽出・追従・モニタリングを行う、人工知能およびロボット技術シーズを用いたビジネスモデル仮説を策定する。同時に顧客ヒアリングを進めて、そのビジネスモデルの現実化・高度化を図る。具体的には、既存の超音波診断装置に付加するだけで誰もが簡単に運動する臓器内の患部を自動抽出・追従・モニタリングできる次世代型超音波生体モニタリングシステムの事業検証に取り組む。

2. 総合所見

超音波生体モニタリング装置について医師にヒアリングを行い、ニーズの明確化と装置の仕様・価格設定について検討を進めた点を評価する。今後の医療技術として期待される分野であるため、製品販売の流通経路や収益構造についてもさらに検討を進め、事業化を実現することに期待する。

以上